

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	衛生管理	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	塩地
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	美容の業における公衆環境衛生の向上に努める。感染症についての的確な知識、技能や消毒法について学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～6	1章 公衆衛生の概要	
7～12	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	
13～22	2章 保健 母子保健・成人高齢者保健・精神保健	
23～26	1章 環境衛生 環境衛生の概要・空気環境	
27～30	衣服・住居の衛生 上・下水道と廃棄物	
31～38	衛生害虫とねずみ 環境保全	
39～46	1章 感染症の総論 人との感染症(歴史・法律・分類)	
47～54	病原微生物 (種類・形と大きさ・構造・増殖と環境の影響)	
55～60	感染症の予防 (人体の感受性・発生の要因・予防の3原則 免疫と予防接種)	
61～66	2章 感染症の各論 理容・美容と感染症	
67～74	主な感染症 (空気・飛沫感染・飲食物・血液・動物を介しての感染)	
75～78	具体的な対策の例 (予防策・咳・皮膚病・嘔吐等の対応)	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	塩地
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	人体の構造と機能について理解し、美容師として頭頸部の構造や機能についての深い知識を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	人体の構造・及び機能 第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	
5～14	第2章 骨角器系 第3章 筋系	
15～22	第4章 神経系 第5章 感覚器系	
23～26	第6章 血液・循環器系	
27～30	第7章 呼吸器系	
31～38	第8章 消化器系	
39～48	皮膚科学 第1章 皮膚の構造	
49～56	第2章 皮膚付属器官の構造	
57～62	第3章 皮膚の循環器系と神経系	
63～68	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
69～76	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	
77～78	"	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	化粧品化学	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)			担当者名	加賀
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	化粧品を扱うプロとして、原料、配合など製品の安全性を十分に理解し、知識を身につけるために学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	物質の構成・構造	
4～6	物質の構成・構造 溶解とコロイド	
7～11	溶液とコロイド イオンと水素イオン指数 (pH)	
12～13	イオンと水素イオン指数 (pH)	
14	↓	
15～18	酸化・還元反応	
19～22	タンパク質	
23～25	↓	
26～28	化粧品概論	
29～31	↓	
32～35	化粧品用原料	
36～37	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容技術理論	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	吉岡
授業方法	講義			実務経験の有無	有(美容従事年数7年)
授業の概要	美容の技術において、裏付けとなる化学的・理論的な根拠を与え、技術の習得を容易にするために学ぶ。				
到達目標	実技を修得するための基礎的知識を理解し、国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～6	序章 美容技術理論を学ぶにあつて	
7～13	1章 美容用具	
14～22	↓ ↓	
23～26	2章 シャンプーイング	
27～30	↓ ↓	
31～38	3章 ヘアデザイン	
39～46	↓ ↓	
47～55	4章 ヘアセッティング	
56～61	↓ ↓	
62～67	5章 パーマネントウェービング	
68～75	↓ ↓	
76～78	6章 ヘアセッティング	
	↓ ↓	
	7章 ヘアカラーリング	
	↓ ↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容実習	学年	1年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	14単位 (420 時間)			担当者名	吉岡
授業方法	実習			実務経験の有無	有(美容従事年数7年)
授業の概要	美容理論に基づいた実践的な技術の習得を行う。				
到達目標	基礎的技術力を修得し、国家試験の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～28	授業形態の説明 ウィッグの取扱い等	
29～91	ワインディング 基本の徹底	
92～147	各パート構成	
148～175	時間短縮 シャンプー	
176～203	完成度アップ テスト	
204～245	ウェーブ セッティング 基本構成等	
246～308	4種類のピンカール	
309～364	ウェーブ・リッジ	
365～406	7段構成	
407～441	カットイング 基本型	
442～490	国家試験課題の 構成説明	
491～504	全頭を通して	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	外国語	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)			担当者名	江畠
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	サロンにおける英会話について実践的な授業を行う。				
到達目標	サロンワークでの英会話能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	自己紹介と挨拶	
3～7	挨拶	
8～11	予約無しへの対応	
12～13	電話予約への対応	
14～15	予約のお客様への対応	
16～19	料金をいただく	
20～24	カッティング ヘアスタイルの注文を伺う	
25～28	シャンプー	
29～31	パーマ (スタイルの注文を伺う)	
32～34	パーマ (部分パーマ)	
35～38	カラーリング (全体染めの場合)	
39	カラーリング (部分染めの場合)	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健体育	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)			担当者名	平川
授業方法	演習			実務経験の有無	無
授業の概要	スポーツを通して、健全な身体、精神力を養う。				
到達目標	身体の健康増進を図る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	バスケットボール/バレーボール サッカー/バドミントンを順に行う	
4～6		
7～11		
12～13		
14～15		
16～19		
20～23		
24～27		
28～30		
31～33		
34～37		
38～39	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	色彩理論	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)		担当者名	関谷	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	美容師としての色彩感覚を身につけ、AFT色彩検定3級の全員取得を目指す。				
到達目標	色彩検定協会主催 色彩検定3級の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	1、配色演習(カラーカード)(アクリル絵の具) (1)色彩 (2)トーン	
4～6	2、色の表示 (1)色の三属性 (2)PCCS表色系 (3)色名	
7～11	3、光と色 (1)視覚 (2)照明 (3)混色	
12～13	4、色彩心理 (1)色の心理的効果 (2)色の視覚的効果	
14～15	5、色彩調和 (1)色相による配色	
16～19	↓ (2)トーンによる配色	
20～23	6、色とファッション (1)ファッションとは(2)配色技法 7、色とインテリア (1)インテリアとは (2)配色技法	
24～27	8、配色演習(色鉛筆) (1)抽象形によるデザイン (2)イメージ表現	
28～30	↓ イメージ表現	
31～33	9、デザイン演習 (1)似合う髪型(頭部)	
34～37	↓ (2)トータルコーディネート (全身)	
38～39	↓ ↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	カウンセリング	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	大塚
授業方法	演習			実務経験の有無	有(美容従事年数14年)
授業の概要	カウンセリングやコンサルティング方法論を学ぶことにより、サロンにおけるコミュニケーション能力や理解力を高める。				
到達目標	サロンでのカウンセリング能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	カウンセリング概論 カウンセリングとは	
5～12	人間関係のアプローチ	
13～20	カウンセリングにおける人間	
21～24	人間存在の本質	
25～28	カウンセリングと人間の本質	
29～36	カウンセリング関係の条件	
37～44	美容室でのコンサルティングの意義	
45～54	コンサルティングに必要な事柄	
55～60	毛髪診断	
61～68	施術前のコンサルティング	
69～76	ヘア・メイクデッサンの意義	
77～78	プロポーションとヘアスタイル	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	ネイル	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)		担当者名	熊谷	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(ネイル業務従事年数14年)	
授業の概要	JNECネイリスト技能検定試験、JNAジェルネイル技能検定の取得を目指し、ネイル理論と技術の習得を行う。				
到達目標	日本ネイリスト検定試験センター主催 ネイリスト技能検定試験3級及び日本ネイリスト協会主催 ジェルネイル検定試験初級の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	世界のネイル史	
5～14	爪の構造・働き	
15～22	皮膚の構造と働き ネイルケア・カットスタイル	
23～26	ネイル技術体系 ネイルケア	
27～30	爪の病気とトラブル ネイルケア	
31～38	サロンでの衛生管理 ネイルケア&アート	
39～48	ネイル用化粧品 ネイルケア&アート	
49～56	ネイルのための生理解剖学	
57～62	色彩理論	
63～68	サロン環境	
69～76	プロフェッショナリズム ネイルカウンセリング	
77～78	チップ&ラップ、リペア	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	メイク	学年	1年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2単位 (60 時間)		担当者名	鈴木	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数3年)	
授業の概要	メイクの基礎的理論と技術を習得し、ディプロマを取得する。				
到達目標	基礎技術を修得し、ディプロマの取得を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	メイクアップ概論	
5～14	顔の形態学的な観察	
15～22	メイクアップと色彩	
23～26	皮膚の生理と構造	
27～30	メイクアップの道具	
31～38	スキンケア	
39～48	ベースメイクアップ	
49～56	アイメイクアップ	
57～62	アイブロウメイクアップ	
63～68	リップメイクアップ	
69～76	ブラッシュオンメイクアップ	
77～78	テスト	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	総合技術	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	中島
授業方法	演習			実務経験の有無	有(美容従事年数12年)
授業の概要	主に、カット、ヘアカラー、パーマ技術やヘアアレンジ、アップ、着付など美容の実践技術を習得する。				
到達目標	サロンワークに特化した基礎的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	パーマメントウェーブ技術	
5～12	・ 巻き方のアレンジ	
13～20	・ 特殊なロッド	
21～24	アップスタイル	
25～28	・ アップスタイルの基本技術	
29～36		
37～44	編み込み	
45～54	・ 編み込みの基本技術	
55～60	・ レース編み ・ くの字編み	
61～68	・ レース編み ・ くの字編み	
69～76	・ レース編み ・ くの字編み	
77～78	作成の完成	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	トータルファッション	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 (60 時間)			担当者名	関谷
授業方法	演習			実務経験の有無	無
授業の概要	ヘアデザインについての創作的な技術を身につけるためにヘアスタイルやファッションイラスト等の描き方を学ぶ。				
到達目標	ヘアデザインの創作的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	1. ヘアイラストレーション (1) 顔の部分練習(目・鼻・口)	
5～12	(2) 顔の描き方(正面・斜め・横)	
13～20	(3) ヘアの描き方(線・ぼかし)	
21～24	(4) いろいろな描き方(パターンの)	
25～28	〃 (省略的・写實的)	
29～36	〃 (写實的【消しゴム】)	
37～44	(5) 顔のイメージ表現(部分・配置の変化)	
45～54	2. ファッションイラストレーション (1) 基礎プロポーションと部分練習	
55～60	(2) ファッションイラスト(全身)	
61～68	〃	
69～76	3. ファッションファイルの制作 (トータルファッションの資料収集と編集)	
77～78	〃	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	関係法規・制度	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)		担当者名	田口	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	社会における法の役割、種類及び衛生法規について、衛生行政、保健所など美容師法に関わる内容を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	第1章 法制度の概要 第1節 社会生活における法の役割	
4～7	第2節 法の実際 第3節 衛生法規の概要 第4節 理容師法・美容師法と附属法令	
8～11	第2章 衛生行政の概要 第1節 法と行政 第2節 衛生行政の意義と歴史 第3節 衛生行政の種類と衛生行政機関	
12～13	第3章 美容師法 第1節 美容師法の目的と構成	
14～15	第2節 用語の定義	
16～19	第3節 美容師	
20～22	第4節 美容所	
23～27	第5節 立入り検査と衛生環境監視員 第6節 違反者等に対する行政処分	
28～30	第7節 罰則	
31～33	第4章 関連法規 地域保健法/感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律/労働基準法/消費者基本法/廃棄物の処理及び清掃に関する法律/株式会社日本政策金融公庫法	
34～37	国家試験(筆記)対策 過去問題の演習	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	衛生管理	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1単位 (30 時間)			担当者名	塩地
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	美容の業における公衆環境衛生の向上に努める。感染症についての的確な知識、技能や消毒法について学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 消毒法とは・消毒の意義	
4～7	理容・美容の業務と消毒との関係 消毒法と適用上の注意	
8～11	2章 消毒法各論 理学的消毒法(殺菌法)	
12～13	化学的消毒法(殺菌法)	
14～15	化学的消毒法(殺菌法)	
16～19	優れた消毒法とその管理上の注意	
20～22	3章 消毒法実習 各種消毒	
23～27	理容所・美容所の消毒の実際	
28～30	理容所・美容所の消毒法の実際	
31～33	1. 全体の復習 2. 過去の国家試験問題の解決	
34～37	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)			担当者名	小玉
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	人体の構造と機能について理解し、美容師として頭頸部の構造や機能についての深い知識を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因	
4～7	皮膚疾患の治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	
8～11	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害	
12	角質化異常による皮膚疾患皮膚疾患	
13～14	色素異常による皮膚疾患	
15～18	血管腫(アカアザ) 脂腺母斑	
19～22	下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患	
23～26	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患	
27～29	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患	
30～32	感染症の皮膚疾患の予防 毛と爪の疾患	
33～36	皮膚の腫瘍	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	化粧品化学	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1単位 (30 時間)			担当者名	加賀
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	化粧品を扱うプロとして、原料、配合など製品の安全性を十分に理解し、知識を身につけるために学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	化粧品用原料	
4～7	↓	
8～11	↓	
12	基礎化粧品	
13～14	↓	
15～18	↓	
19～22	メイクアップ用化粧品	
23～26	頭皮・毛髪用化粧品	
27～29	↓	
30～32	↓	
33～36	芳香製品と特殊化粧品	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容技術理論	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	3 単位 (90 時間)			担当者名	畑澤
授業方法	講義			実務経験の有無	有(美容従事年数12年)
授業の概要	美容の技術において、裏付けとなる化学的・理論的な根拠を与え、技術の習得を容易にするために学ぶ。				
到達目標	実技を修得するための基礎的知識を理解し、国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～8	8章 エステティック	
9～20	9章 ネイル技術	
21～32	10章 メイクアップ	
33～37	11章 日本髪	
38～42	↓	
43～54	12章 着付けの理論と技術	
55～63	国家試験に向けての練習問題	
64～76		
77～85		
86～94		
95～105	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	文化論	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2単位 (60 時間)			担当者名	関谷
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	理・美容業における歴史やヘアスタイル、ファッションの文化史を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。また、歴史を学び、幅広い知識を得る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～6	第1章 総論 第2章 日本の理容業・美容業の歴史	
7～14	第3章 ファッション文化 日本編 第1説～第3節	
15～22	第4節～第7節	
23～26	第8節～第10節	
27～30	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節～第3節	
31～38	第4節～第6節	
39～44	第7節～第9節	
45～54	第10節～第12節	
55～60	第13節～第16節	
61～66	第5章 礼装の種類	
67～74	国家試験対策 テスト	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	運営管理	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1単位 (30 時間)			担当者名	進藤
授業方法	講義			実務経験の有無	有(美容従事年数15年)
授業の概要	美容の仕事をしていくための知識として、接客、マーケティング、経営、労務、健康の管理を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。また、サロン運営の知識を得る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	第1編 経営者の視点 第1章 経営が必要とされる理由	
4～7	第2章 理容業 美容業の経営について 第3章 資金の管理	
8～11	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	
12	第2章 健康・安全な職場環境の実現	
13～14	↓	
15～18	第3章 従業員としての視点から	
19～22	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	
23～26	第2章 マーケティング	
27～29	第3章 サービスにおける人の役割	
30～32	↓	
33～36	国家試験対策 テスト	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容実習	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	16単位 (480 時間)			担当者名	畑澤
授業方法	実習			実務経験の有無	有(美容従事年数12年)
授業の概要	美容理論に基づいた実践的な技術の習得を行う。				
到達目標	基礎的技術力を修得し、国家試験の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～45	ワインディング オールウェーブ セッティング カッティング } 時間短縮	
46～103		
104～167		
168～184		
185～207		
208～259		
260～305		
306～363	国家試験課題の練習	
364～411		
412～453	課題(衛生を含めた)通し練習	
454～508	国家試験	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	日本語	学年	2年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1単位 (30 時間)			担当者名	藤田
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	接客における言葉使いや履歴書の書き方、お礼状の書き方等、常識的なマナー全般を学ぶ。				
到達目標	就職してからの一般常識や対応能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	作文・面接 2、就職面接対策	
3～6	・履歴書の書き方等(推敲させて提出)	
7～10	・模擬面接	
11～12	・手紙文の形式 ・礼状の書き方等	
13	文章表現の実践 1、表現	
14～17	・明快な表現等	
18～19	・文体の統一等	
20～23	2、構成 ・段落を分けて書く等	
24～26	・論旨をまとめる	
27～29	3、実践 ・感想文を書く	
30～32	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健体育	学年	2 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 (30 時間)			担当者名	平川
授業方法	演習			実務経験の有無	無
授業の概要	スポーツを通して、健全な身体、精神力を養う。				
到達目標	身体健康増進を図る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	バスケットボール/バレーボール サッカー/バドミントンを順に行う	
4～7		
8～11		
12～13		
14～15		
16～19		
20～22		
23～27		
28～30		
31～33		
34～37	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	エステティック	学年	2年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2単位 (60 時間)		担当者名	鈴木	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数3年)	
授業の概要	エステの基礎的理論と技術を習得し、ディプロマを取得する。				
到達目標	基礎技術を修得し、ディプロマの取得を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	8章 エステティック 1.エステティック概論 2.皮膚の生理と構造	
5～12	4.美容におけるマッサージ理論 5.フェイシャルケア技術 6.フェイシャル及びデコルテマッサージ 7.フェイシャルパック	
13～20	8.ボディケア技術 9.ボディマッサージ	
21～24	実技 (ドール使用) ポイントクレンジング・クレンジング 拭き取り・手技・行程 手順・ツボの位置	
25～26	↓	
27～34	実技(相モデル)	
35～38	↓	
39～46	↓	
47～52	実技(グループ毎)	
53～58	↓	
59～64	↓	

令和元年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	総合技術	学年	2年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	3単位 (90 時間)			担当者名	中島
授業方法	演習			実務経験の有無	有(美容従事年数12年)
授業の概要	主に、カット、ヘアカラー、パーマ技術やヘアアレンジ、アップ、着付など美容の実践技術を習得する。				
到達目標	サロンワークに特化した基礎的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～9	修得した技術を元にさらに高度な技術を身につける	
10～21	・トータルスタイリング	
22～33	・グループワーク モデルを使用した作品制作	
34～39		
40～45	・ヘアーショー (アキリビコレクション) 作成発表	
46～57	着付・実技	
58～69	日本髪・かつら	
70～81	サービス・カウンセリング	
82～90	サロンワーク演習	
91～99		
100～111		